

遡及的自我同一性地位面接の信頼性を検討する試み ー自我同一性地位とその移行経路の再検査法による検討ー

眞鍋一水 (京都教育大学大学院)

問題・目的: Erikson (1950) による“自我同一性”を実証的に捉える方法の一つに、Marcia (1966) による自我同一性地位面接 (以下 EISI) が挙げられる。1 度目の評定が自我同一性達成であった者が 6 年後 2 度目の調査時に早期完了と評定されるケースが発見され (Marcia, 1976), それ以後自我同一性地位 (以下 EIS) の移行は多くの研究で認められている (小沢, 1989; 園田他, 1996)。今日では EIS は移行を繰り返し、生涯を通して自我同一性は発達して行く事が明らかにされているが (岡本, 1986), EISI の信頼性の検討は結局される事は無かったようである。眞鍋 (2013) は無藤 (1969) の EISI を改良し、過去の EIS を遡って評定し移行を類型化することができる、遡及的自我同一性地位面接 (Retroactive Ego Identity Status Interview: REIEI) を考案した。REIEI ではまず現在の選択の評定が無藤の項目を実施し、さらにそれ以前の直近の選択を問う。直近の選択について、無藤の項目のうち過去形に変えて妥当である項目を実施し、さらにそれ以前の直近の選択、選択の変化が何によってもたらされたのかを問い、これらの質問から EIS を評定する。これを遡及的に繰り返し行い、EIS の移行を類型化する面接調査法である。REIEI は EISI をベースにしており、1 年を空けて 2 度実施した場合、time1 (眞鍋, 2013) で評定した EIS が time2 (今回) にも含まれることになる。そのため time1 と time2 の重複部分の一致の程度を確認する事で、REIEI で求める移行の類型化の有効性と、EISI で求める EIS の信頼性も検討する事が可能であると考えられる。

方法: 調査時期: time1 は 2012 年 8 月から 11 月に行われ今回の time2 は 2013 年 10 月に行われた。協力者: 3 名の協力者の結果を分析した。属性は Table の左欄に性別・time1, 2 時の職種を記した。

手続きと倫理的配慮: 調査目的の説明, 質問への回答をパスしたりいつでも調査を終えられる事などを説明し, 質問を受け付け, 同意書への署名によって協力の意志を確認した上で REIEI を行った。場所は大学の相談室など, 協力者のプライバシーが十分に確保された場所で行った。なお面接は同意を得て録音し, 調査者が逐語化を行った。

結果: EIS の評定者間一致率は 68% であった。一致しなかった EIS は協議され, それでも合意しなかった場合は筆者の評定が採用された。各 EIS の選択内容と, 選択のきっかけを Table に示す。

考察: A さんと B さんは time1 では A であったが, 大学院に進学して M に移行していた。これ自体は発達的变化と言えるが, “現在の職業選択” について EIS を評定する EISI の特性から, 以前の A が捉えられていない。一つの職業選択についても, 環境の変化 (進学, 卒業) などで区切って評定する方法が有効である事が示唆された。A さんの価値観が選択・EIS とともに変化した, これは現在の職業選択と関連して変化したことが想定される (植之原, 1993)。C さんは想起した選択は異なるが EIS は一致していた。現在の EIS が A だと想起された選択・EIS 共に安定し, 現在の EIS が M だと想起された選択・EIS は不安定であり, 現在の EIS がより未発達だと想起された選択は不安定だが EIS は安定することが示された。今後はより多くの協力者の発達経過を調査する事が必要だと考えられる。

文献: 眞鍋 (2013). 教心総会論文集, p279

Table EISの移行と選択の変化									
協力者		領域	時期	時期ごとの職業選択/価値観(自我同一性地位)					
				中学:3	高校:1	高校:2	高校:3	大学:1	大学:2
Aさん 女性 学部生 院生	職業選択	time1			心理士(A:対人関係)			心理士(M:進路選択)	同(A:覚悟ついた)
		time2		特になかった				心理士(M:進路選択)	
	価値観	time1							
		time2							
Bさん 女性 学部生 院生	職業選択	time1			獣医(F:ドラマ)	英語に携わる(F:進路選択)	心理士(F:進路選択)	心理士(A:近親者の死去)	time1:発達, time2:発達
		time2			獣医(F:ドラマ)	英語に携わる(F:進路選択)	心理士(F:進路選択)	心理士(A:近親者の死去)	
	価値観	time1			謙めない(F:以前から)	大切な人を大切に(F:友人の言葉)		笑顔と人を大切に(A:ボランティアの経験)	time1:発達, time2:発達
		time2			謙めない(F:以前から)	がんばること(F:以前から)		笑顔と人を大切に(A:ボランティアの経験)	
Cさん 男性 学部生 会社員	職業選択	time1			特になかった		院進学(D:なんとなく)	就職・接客業(F:就活)	time1:停滞, time2:停滞
		time2			調理師(F:家族から)	ゆとりをもって働く(D:なんとなく)		ゆとりも稼ぎも(F:就活)	楽しく生きたら(D:職場不適応)
	価値観	time1				ふわふわ行きていく(D:-)		時期詳しく覚えてない・今を楽しむ(F:本を読んで)	time1:停滞, time2:停滞
		time2				まだ曖昧だった(D:-)		めぐり巡る(F:ボランティアの経験)	

* A:Identity achievement, M:Moratorium, F:Foreclosure, D:Identity diffusion 卒後1年(現在のtime1)には、EISの移行類型を示した。